

中学生サミット通信

平成30年2月5日発行

文京区青少年委員会
会長 石田 幸雄

新しい生徒会役員になって初めての中学生サミット。 緊張しつつも活発な話し合いをすることができました。

平成29年12月2日(土)、文京区立第十中学校にて「第47回中学生サミット連絡会」が開かれました。中学生サミット連絡会とは、区立中学校の生徒会役員が一堂に会し、議題を決めて情報交換を行い、各生徒会の活動を活性化させることを目的に、青少年委員会が実施している事業です。今回は、各校で生徒会役員選挙を終え、2年生が会長となってから初めてのサミットでした。最初は、どのようなことが行われるのか、緊張した面持の生徒が多かったですが、アイスブレイクを行い、3つのグループに分かれて話し合っていくうちに、打ち解けて活発に意見交換することができました。

議題1

生徒会活動で悩んでいること、その改善点

新しい生徒会役員のメンバーで活動し始めて2ヶ月。うまくいったり、いかなかったりして、悩みが出てくる頃です。そこで、各校での悩みやうまくいったアイデアを共有し、今後につなげられればと思い、この議題を設定しました。

どのグループにも共通して出た悩みは、「あいさつ」に関すること、「意見箱」に関することでした。

あいさつに関しては、「集団に対してするのではなく、個人個人にするようにする」「生徒との距離を近くする」「強化週間を設ける」といった改善策ができました。

意見箱に意見が来ないことに対しては「お題を提示する」「意見の返答を速くする」という改善策ができました。また、ふざけた意見が投函されてしまうことに対しては、「記名させる」といったアイデアも出ました。

他にも、「コンタクトポストのアイデアは、生徒全員から募集するのがよい」という意見や「ユニセフ募金の時期、行事の後がよい」、「生徒会室で使った資料は、箱やファイルで整理する」といったことも話題になりました。

今回話し合った改善策を取り入れ、各校の生徒会活動がより活性化していくことを願っています。

議題2

授業や行事でクラスをまとめる方法・工夫

生徒会役員を務める生徒は、班長や学級委員など、クラスの皆をまとめる立場を経験している人が多いと思います。普段の授業や、運動会、学習発表会といった大きな行事で、クラスをまとめるためにどのような方法を使っているか意見交換をし、自分の学校生活に取り入れられればと思い、この議題を設定しました。

授業中に私語をしてしまう人や、ふざけてしまう人に対しては、どのグループでも「声かけ」をするという方法ができました。その時のポイントとしては、前向きに明るく言うこと、リーダーだけでなく気づいた人から言うことが出ました。また、班を基準にして声かけをする、学級委員や実行委員と協力して声かけをする、注意する人を増やすことも挙げられました。真面目に注意するだけでなく、ノリで軽く注意したり、1対1で注意したりするアイデアも出ました。また、話す人がいなくなるような席をつくる、ふざけている人と真面目な人を近づけるという座席のアイデアも出ました。

他にも、週の目標を決めたり、行事の目標を決めたりすることで団結できるという意見もありました。

